

2024年度決算説明会

(2024年4月～2025年3月)

開催日: 2025年5月30日

(東京都文京区小石川一丁目4番1号)

ジオスター株式会社

目次



1. 2024年度決算(P3~P13)
2. 2025年度業績予想(P14~P16)
3. 参考資料(P17~P25)

1. 2024年度決算



- ・2024年度の事業環境……………P4
- ・2024年度決算の概況……………P5
- ・連結決算概要……………P6
- ・受注高・受注残の推移……………P7
- ・連結貸借対照表概要……………P8
- ・連結主要経営指標……………P9
- ・キャッシュフロー計算書概要……………P10
- ・設備投資・減価償却の推移……………P11
- ・2024年度・期末剰余金の配当……………P12
- ・配当金の推移……………P13

2024年度の事業環境



【土木事業】

- 公共投資は堅調に推移。

今後の先行きについても補正予算の効果もあり、底堅く推移することが見込まれる。

但し、以下の点は注視が必要である。

- 大型セグメント案件の掘進時期が依然として見通せない。

- 諸資材価格の高止まり、人手不足による人件費上昇、2024年問題を契機とした物流費の上昇、ドライバー不足、工事の遅延続発。

2024年度決算の概況



- **事業環境への対応**
 - ・主力のセグメント製品は厳しい競争環境継続。
 - ・大型セグメントのみならず、中小セグメントの受注を積み増す。
- **土木製品の売上拡大**
 - ・舗装版等の差別化製品を中心としたRC土木の売上拡大。
- **コスト上昇に対する販売価格転嫁の推進。**

連結決算概要



(単位:百万円)

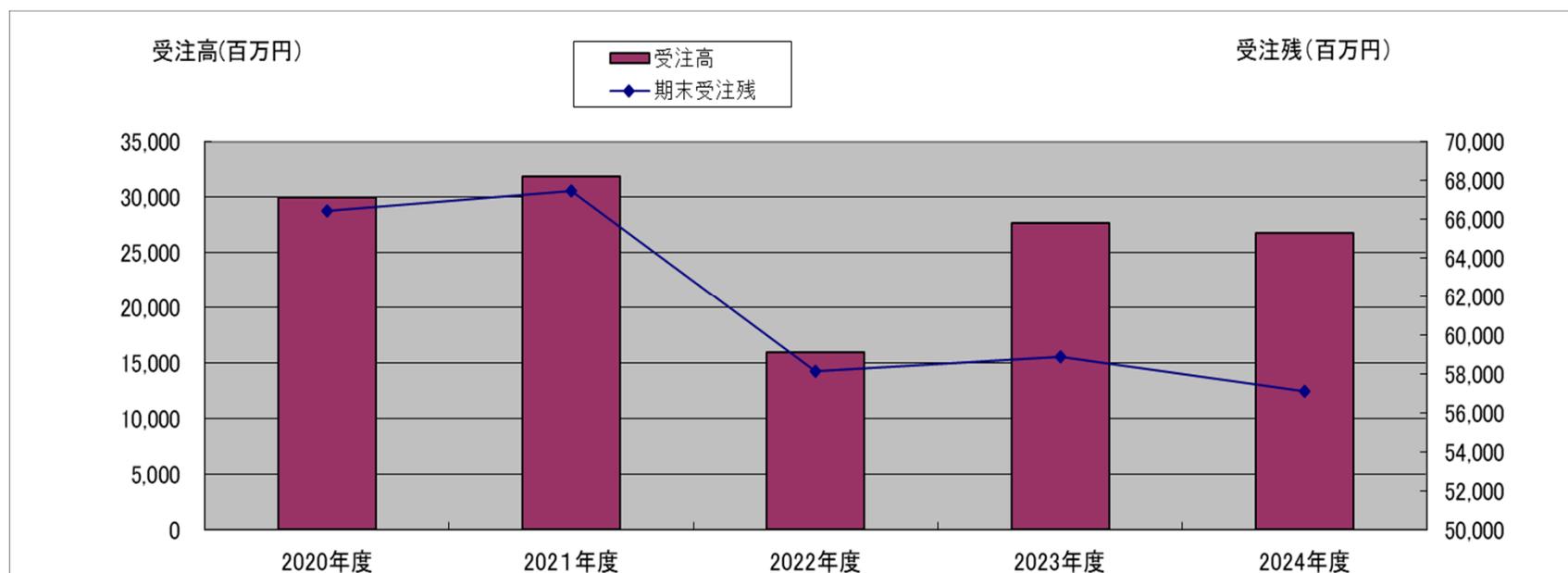
	2023年度 実績 A	2024年度 実績 B	前期比 C=B-A	増減率 C/A	2024年度業績予想公表値			
					2024年 5月15日	2024年 9月6日	2024年 11月29日	2025年 2月7日
売上高	26,910	28,527	1,617	6.0%	29,400	29,400	28,800	28,800
営業利益	1,831	1,551	△ 279	△ 15.3%	970	970	1,270	1,270
経常利益	1,852	1,580	△ 271	△ 14.6%	1,000	1,000	1,300	1,300
親会社株主に帰属する当期純利益	1,102	835	△ 267	△ 24.3%	640	640	800	800
配当(円)	中間	-	3.00	3.00	未定	3.00	3.00	3.00
	期末	11.00	8.00	△ 3.00	未定	3.00	3.00	5.00
年間	11.00	11.00	-	-	未定	6.00	6.00	8.00

受注高・受注残の推移



(単位:百万円)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
受注高	29,958	31,877	15,916	27,687	26,759
期末受注残	66,431	67,448	58,128	58,906	57,137



連結貸借対照表概要



(単位:百万円)

科 目	2023年度	2024年度	増減額	科 目	2023年度	2024年度	増減額
	A	B	B-A		A	B	B-A
現預金同等物	5,142	4,259	△ 882	支手・買掛金・未払	7,681	7,205	△ 475
売上債権	10,276	9,756	△ 520	長短借入金	330	290	△ 40
たな卸資産	8,718	9,513	794	その他	5,436	5,484	47
未収入金	2,294	1,901	△ 392				
その他	290	417	126	負債合計	13,448	12,979	△ 468
流動資産合計	26,722	25,847	△ 874	自己資本	23,318	23,740	422
有形固定資産	7,418	8,282	864	利益剰余金	14,789	15,187	397
投資有価証券他	2,626	2,589	△ 36	その他有価証券 評価差額金	789	759	△ 29
				その他	7,739	7,793	54
固定資産合計	10,044	10,872	828	純資産合計	23,318	23,740	422
資産合計	36,766	36,719	△ 46	負債純資産合計	36,766	36,719	△ 46

連結主要経営指標



	2023年度	2024年度
自己資本当期純利益率 (R O E)	4.9%	3.6%
総資産経常利益率 (R O A)	5.2%	4.3%
売上高営業利益率	6.8%	5.4%
D/E レ シ オ	0.01倍	0.01倍
自己資本比率	63.4%	64.7%
有利子負債残高	336百万円	312百万円
期末総資産	36,766百万円	36,719百万円
期末自己資本	23,318百万円	23,740百万円

キャッシュフロー計算書概要



2024年度は税金等調整前当期純利益は12.86億円であったが、有形固定資産の取得による投資キャッシュフローの支出によりフリーCFは3.98億円の支出となった。
また、配当金の支払4.37億円等により、現金同等物は8.82億円減少し、期末残高は42.59億円となった。

(単位:百万円)

	2023年度 A	2024年度 B	増減額 B-A
税金等調整前当期純利益	1,686	1,286	△ 399
減価償却費	681	689	8
法人税	△ 515	△ 480	34
その他営業キャッシュフロー	△ 3,745	△ 567	3,177
投資キャッシュフロー	△ 727	△ 1,326	△ 599
フリーキャッシュフロー	△ 2,620	△ 398	2,221
借入金等 返済・調達	—	△ 40	△ 40
支払配当	△ 187	△ 437	△ 249
その他	△ 4	△ 6	△ 1
現金同等物 増減額	△ 2,812	△ 882	1,929
現金同等物 期首残	7,954	5,142	△ 2,812
現金同等物 期末残	5,142	4,259	△ 882

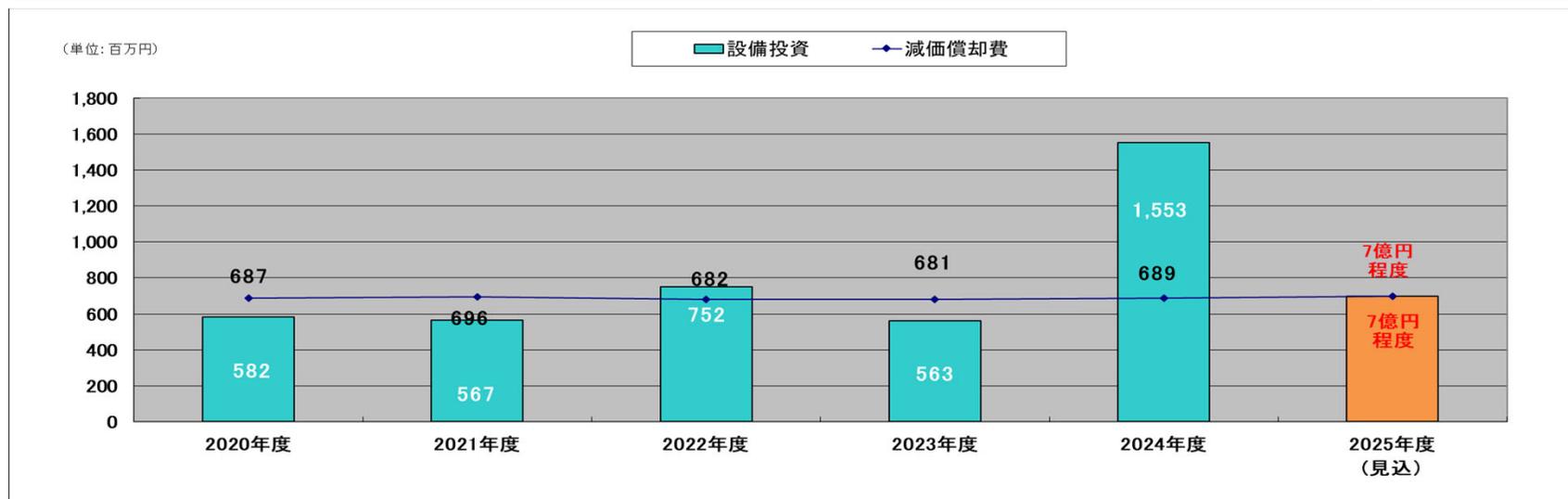
設備投資・減価償却の推移



2024年度は、15.53億円の設備投資を実施した。その主なものは、東松山工場、金谷工場の屋根補強工事による設備投資が主なものとなる。

(単位:百万円)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (見込)
設備投資	582	567	752	563	1,553	7億円 程度
減価償却費	687	696	682	681	689	7億円 程度



2024年度・期末剰余金の配当



【利益配分に関する基本方針】

当社グループは適正な利潤の確保に努め、健全な発展と持続性を目指し、収益状況に対応した適正な配当維持に努力することを基本方針といたします。また、内部留保を充実し、企業体質の強化と将来の事業展開に備えたいと考えております。

収益状況に対応した適正な配当の指標として

⇒ **連結配当性向年間30%程度を目安とします。**

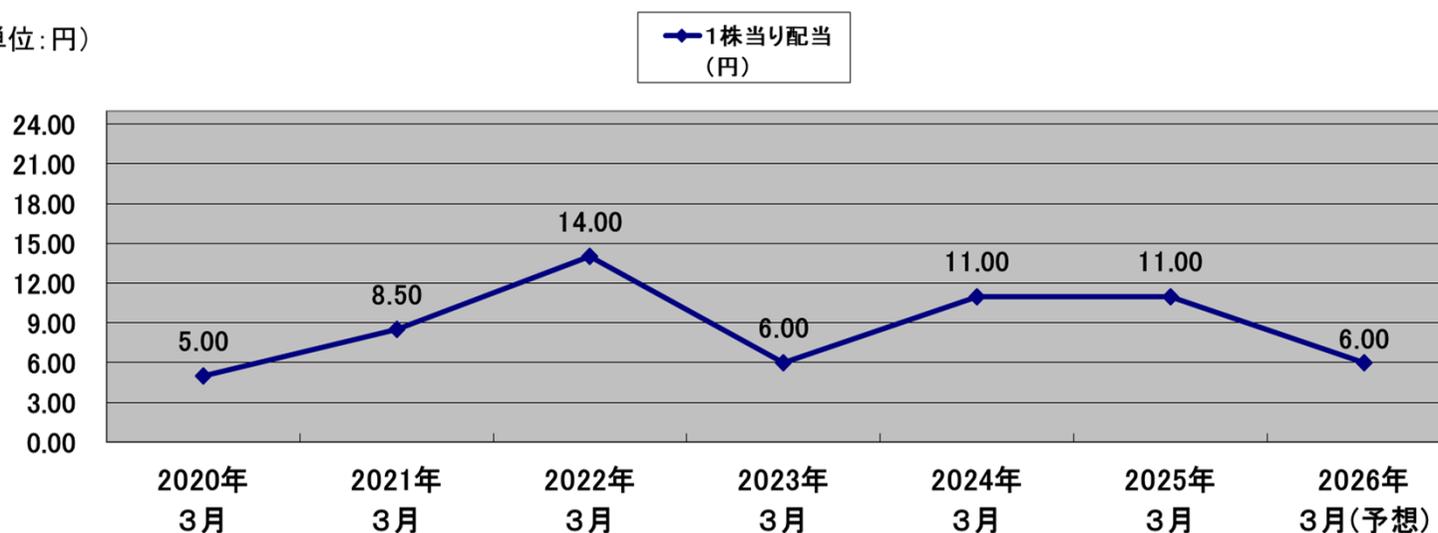
一方、2024年度の親会社株主に帰属する当期純利益においては、ここ数年の当社事業結果によらない旧会社時代に取得した事業所の整理損失約270百万円が含まれていることから、当該損失を理由に配当を減じ、株主の皆様にご負担をお願いすることは適切でないと判断し、当該費用相当分を配当原資として改めて組み入れた結果、当期の年間配当は、1株につき11円(内中間3円)といたしました。

配当金の推移



決算年月	2020年 3月	2021年 3月	2022年 3月	2023年 3月	2024年 3月	2025年 3月	2026年 3月(予想)
1株当り配当(円)	5.00	8.50	14.00	6.00	11.00	11.00	6.00
(内中間配当額)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(3.00)	(3.00)

(単位:円)



2. 2025年度業績予想



- 2025年度の概況 P15
- 2025年度業績予想 P16

2025年度の概況



●事業環境

主力であるセグメント製品の競争は依然として厳しい状況であり、土木製品も前期に増加した舗装版製品が減少することから減収減益の見込み。

●対策

- ・主力のセグメント製品の受注を積み増し、トップシェア維持。
- ・土木製品についても舗装版等差別化製品の受注拡大を図る。
- ・新規商品の開発・技術提案力の強化により、収益の確実な貢献を図る。
- ・コスト上昇に対する販売価格の転嫁、徹底的な原価低減等の諸施策の継続実施。

2025年度業績予想



(単位:百万円)

	2024年度		2025年度			前期比	
	実績		業績予想(5/15公表値)			増減額	増減率
	A	比率	第2四半期 (累計)	通期 B	比率	C=B-A	C/A
売上高	28,527	100.0%	13,900	28,300	100.0%	△ 227	△ 0.8%
営業利益	1,551	5.4%	490	970	3.4%	△ 581	△ 37.5%
経常利益	1,580	5.5%	500	1,000	3.5%	△ 580	△ 36.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	835	2.9%	300	600	2.1%	△ 235	△ 28.2%
配当(円)	11.00	-	3.00	6.00	-	△ 5.00	△ 45.5%

参考資料



- ・今後予定される主なプロジェクト
- ・ジオスターの地下空間
セグメント製品
土木製品

今後予定される主なプロジェクト



1. 石神井川上流第一調節池

概要: 大雨による洪水に対応する地下トンネル式調節池

区間: 西東京市南町～都立武蔵野公園までを結ぶ地下トンネル

延長: 1.9キロ

完成予定: 2033年

2. 善福寺川上流調節池

概要: 大雨による洪水に対応する地下トンネル式調節池

区間: 杉並区成田西3～西荻北4付近を結ぶ地下トンネル

延長: 5.8キロ

完成予定: 2035年

3.有楽町線延伸

概要:有楽町線の豊洲駅から住吉駅までの地下鉄延伸工事

延長:4.8キロ

完成予定:2030年代半ば(開業)

4.南北線延伸

概要:南北線の白金高輪駅から品川駅までの地下鉄延伸工事

延長:2.5キロ

完成予定:2030年代半ば(開業)

5.多摩川トンネル

概要:国道357号東京湾岸道路

東京都大田区羽田空港と川崎市川崎区浮島を結ぶ道路用シールドトンネル

区間:大田区羽田空港～川崎区浮島

延長:3.4キロ

完成予定:未定

6. 淀川左岸線延伸部

概要: 阪神高速2号豊崎出入口から近畿自動車道と第二京阪道路の門真JCTに接続する高速道路計画

区間: 豊崎IC ~ 門真JCT

延長: 8.7キロ

完成予定: 2032年

7. 京奈和自動車道 大和北道路

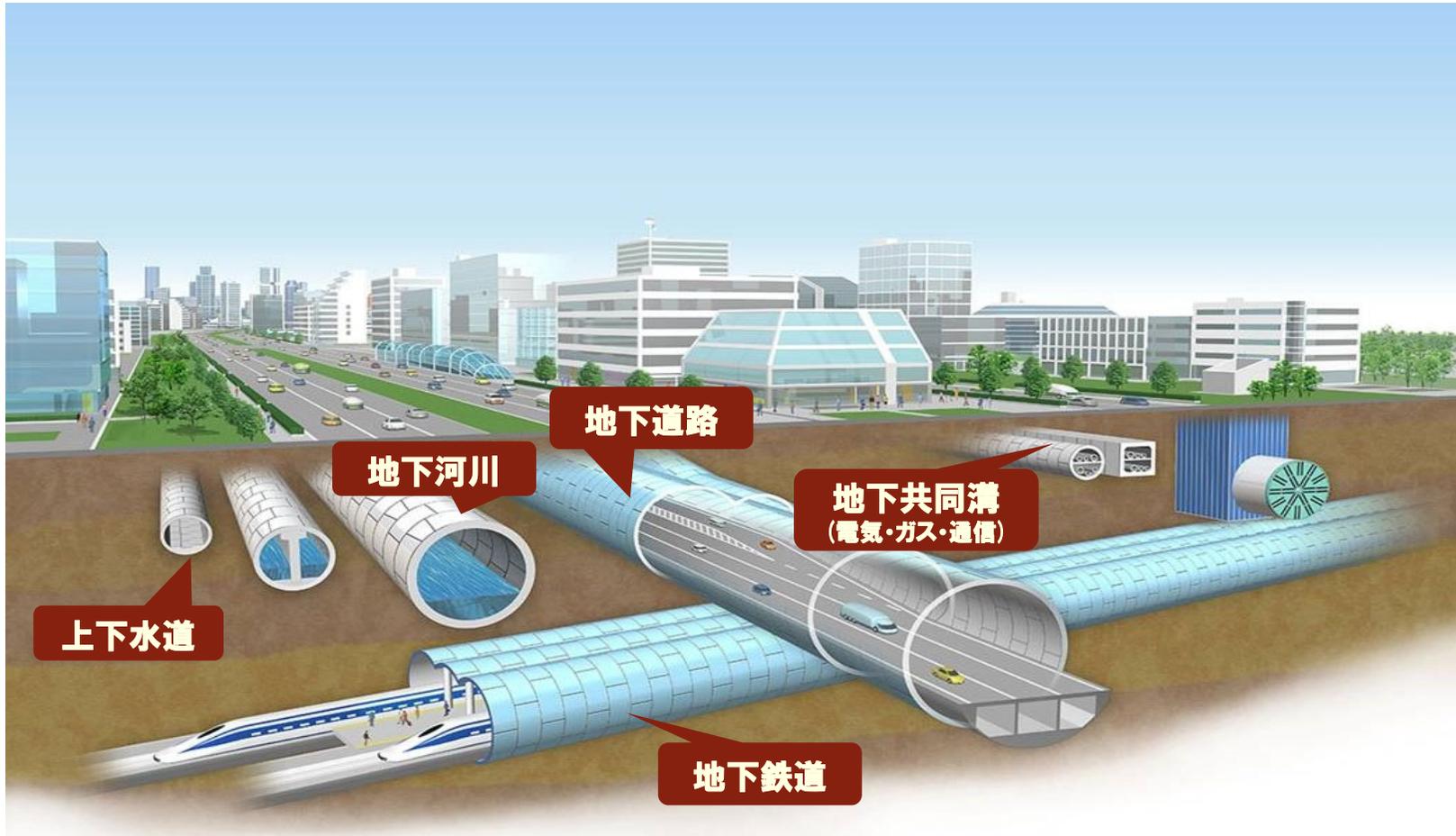
概要: 京奈道路の木津IC付近から西名阪自動車道までの区間延長約12.4キロの道路

区間: 奈良県奈良市歌姫町 ~ 奈良県大和郡山市横田町

延長: 12.4キロ(シールド6.1キロ、高架6.3キロ)

完成予定: 未定

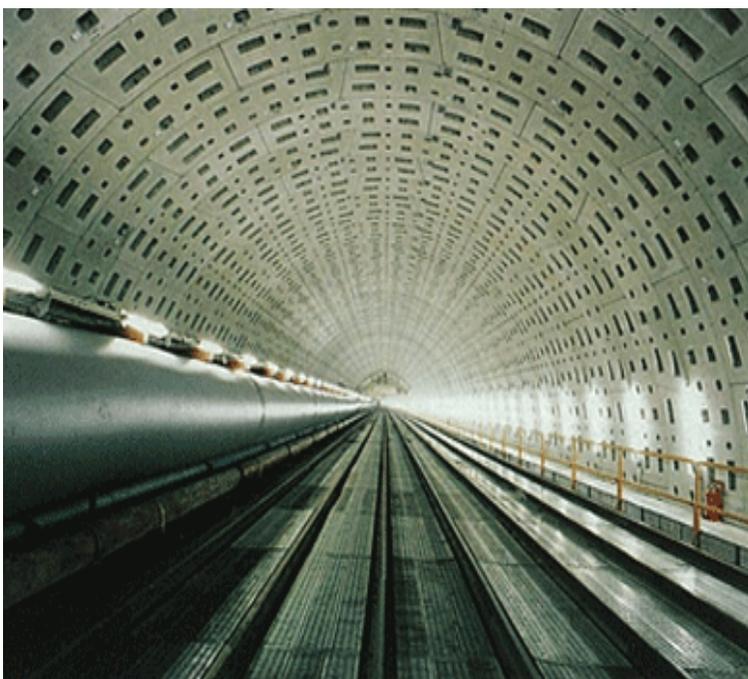
ジオスターの地下空間



セグメント製品



●RCセグメント

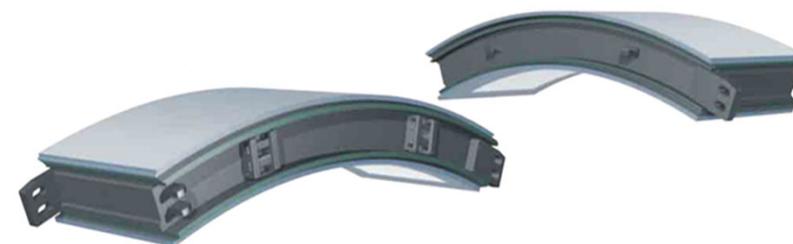


●スチールセグメント

●CPセグメント

●HCCPセグメント

●NMセグメント



土木製品



土木製品



- ボックスカルバート
- アーチカルバート
- L型部材
- 共同溝
- 防潮堤
- モジュラーチ
- ジオウエアボックス
- 矢板
- スラブ



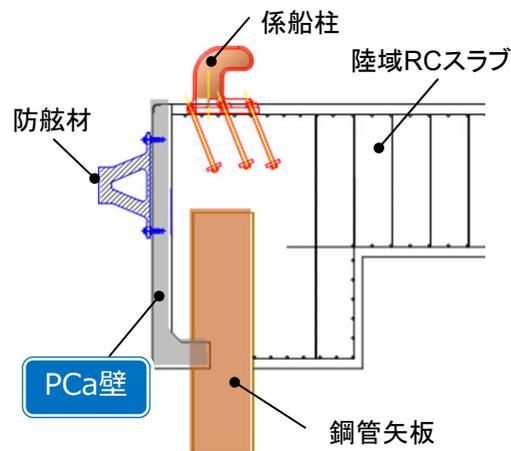
トピックス

鋼管矢板一体型護岸へのPCaコンポジット工法の適用

急速施工が可能なPCaコンポジット工法は、昨今の線状降水帯や強風など変化の激しい気象条件において、現場の工期に制限が生じやすい港湾工事に最適な工法です。

昨年には、荷積み重量の大きい部材の組立ヤードとSEP船の係留を兼用するため、PCa壁、鋼管矢板、陸域RCスラブまでを一体化するPCaコンポジット構造を実現し、従来はコーピングと陸域スラブと個別に構築していた港湾工事のさらなる工期短縮に寄与し、PCa部材搬入後、短期間で護岸引き渡しを完了しています。

今後は、地域社会の発展に伴う港湾設備の業容拡大、海面上昇対策や耐震補強などのニーズに応えるべく、公共工事や民間工事における港湾施設の新設・更新工事等に適用を図って参ります。



PCaコンポジット護岸の概要



鋼管矢板へのPCa壁設置状況



施工完了後の基地港湾岸壁

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。